

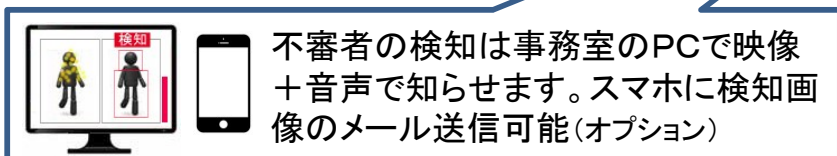
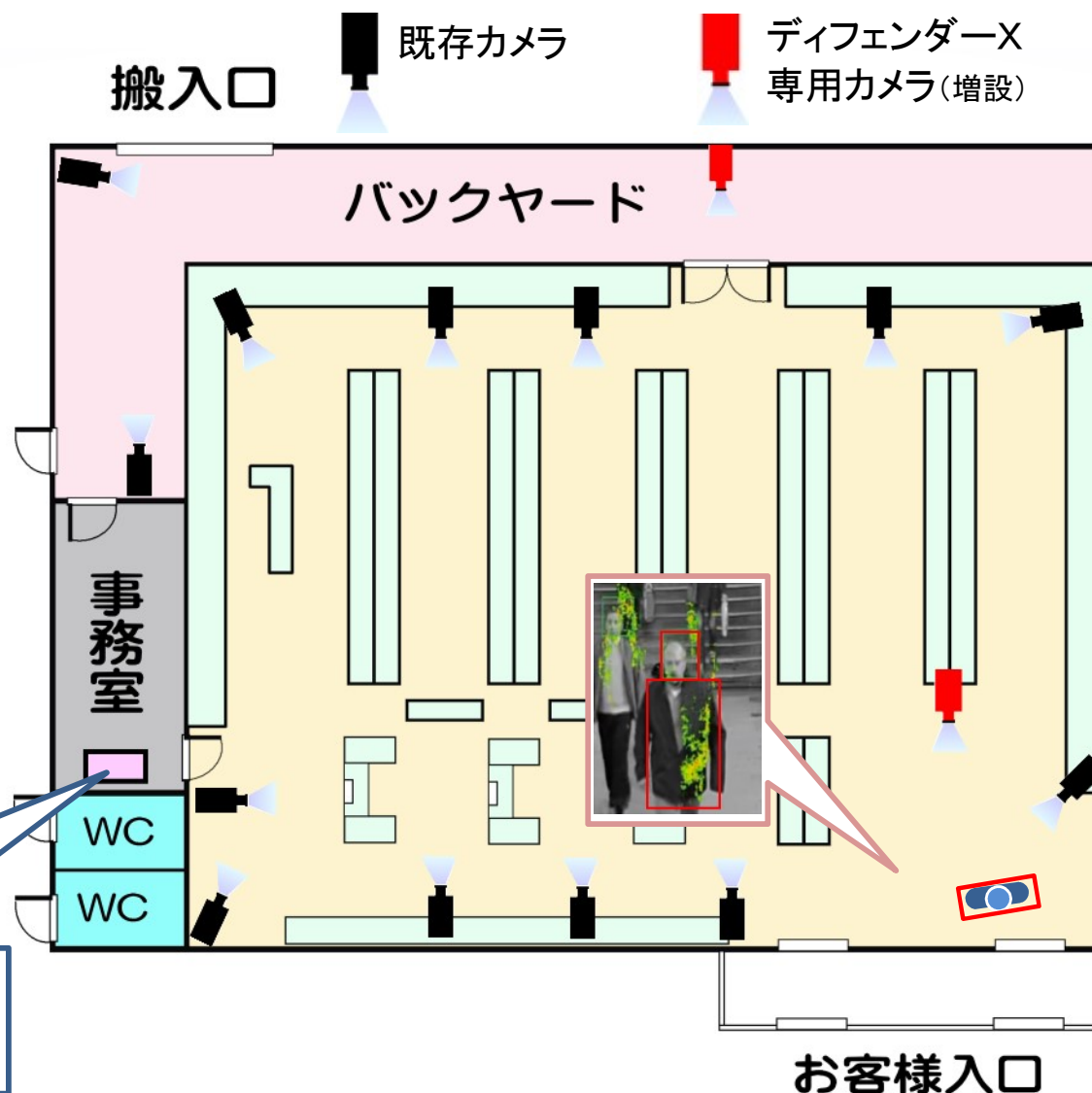
人の感情を分析し“不審者を事前に検知”する

DEFENER-Xで現状の防犯システムをレベルアップ

万引きや商品に異物混入など行う不審者の犯行を防止。内部犯行の抑止効果も期待できます。

DEFENDER-Xの導入メリット

- ・万引きや業務妨害行為を防止し損害を抑制
- ・不審者の検知時のみ防犯カメラの録画映像をチェック。確認作業を軽減
- ・出入り業者や内部犯行の抑止。日常的に複数検知する対象者を重点的にチェック
- ・既存の防犯システムに干渉せずに運用可能。※専用カメラの増設(推奨)
- ・不審者検知の画像をスマホにメール送信。日常業務中も防犯対応が可能



不審者を事前検知する 次世代セキュリティシステム

DEFENDER-X

ディフェンダーXがわかる動画公開中



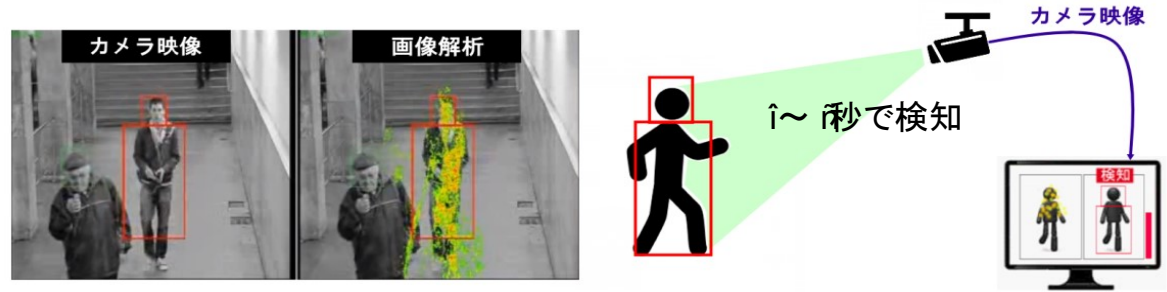
DEFENDER-Xは、犯行に及ぶ前の特有の精神状態をカメラ映像から分析し、不審者を事前に検知する、まったく新しい防犯システムです。事前のデータ登録も必要無く設置後すぐに効果を発揮。

人は肉眼ではわからないレベルで振動しており、その振動は精神状態にリンクしています。それを解析する特許技術(ロシア・ソチオゾ社)により、真の防犯システムが完成しました。

録画映像の事後解析で犯人特定 J M

ディフェンダーXは、不審者の事前検知だけでなく、録画された映像を解析し不審者を検知することも可能です。犯人逮捕に寄与するケースもあります。

監視カメラ映像から精神状態を分析し不審者を事前に検知



振動からストレスや恐怖、攻撃性データを検出すると“不審者と判定”



ソチオリンピックや2015年の伊勢志摩サミット、空港等で実績

ソチオリンピックでは、全ての入場ゲートにディフェンダーXが設置され期間中、2600人を不審者として検知。そのうち92%が危険物所持や入場券のない不正入場者でした。日本でも2015年の伊勢志摩サミットやラグビーの天覧試合の警備などで試験運用されたことがマスメディアでも紹介されています。